

481

# 報公介紹業職

版 災 震  
號 三 第

行發日五月十年二十正大

局務事介紹業職央中



# 始





## 東京市及隣接町村求人開拓概況

(東京地方職業紹介事務局報告)

### 一 求人開拓開始

震災後漸次帝都ノ秩序回復シ罹災者小康ヲ得ルト共ニ相踵ヲ必然的ニ來ルヘキハ罹災失職者頻出ノ問題ニシテ罹災當初既ニ東京市ノ職業紹介所ハ大部分焼失ノ厄ヲ見タルモ直ニ右應急措置ニ向ツテ大活動ヲ開始セリ然レトモ求人口ノ枯渴ハ各紹介所ノ等シク嘆スル處ニシテ焦眉ノ對策トシテ燒跡整理ニ要セラルル求人口ヲ目標トシ一齊ニ個別的活動ヲ開始シタルモ尙逐日増加シツツアル罹災求職者ノ大半ニ職ヲ與フルコトハ頗ル難事トセサルヲ得ス於茲時局ノ急ニ處スル爲メ特ニ求人開拓ノ要ヲ認メ中央事務局及府市紹介所ノ應援ヲ求メ直ニ聯合求人開拓班ヲ組織シ需給調節ヲ企圖セリ。

### 二 開拓班ノ組織

開拓班本部ヲ當局ニ置キ府下開拓班ヲ二班ニ分チ一班ニ四名乃至五名ヲ充テ中央二名、地方三名、東京市中央四名、東京府二名、龜戸町紹介所一名、澁谷紹介所一名ヲ出シ交互ニ之ヲ充ツ。

### 三 開拓方法

市内燒跡整理ニ向ツテノ求人開拓ハ上述ノ如ク既ニ着々歩ヲ進メツツアリシヲ以テ當開拓班ハ主トシテ市隣接町村ノ開拓ニ意ヲ注キ第一班ハ龜戸町ヲ起點トシテ北西ノ町村ニ第二班ハ品川町ヲ起點トシテ南西ノ町村ニ各活動ヲ開始シ町村役場警察署ニ就キ其方面避難民ノ狀況之ニ對スル處置

方法等ヲ聽キ更ニ該方面ノ工場會社食糧配給所鐵道保線係等此際相當需要アリト認メラルル諸方面ヲ開拓ノ目標ト爲セリ而シテ零細ナル需要口ニ對シテハ求人印刷物ノ配布又ハ要所貼布ヲ以テ之ヲ吸收センコトヲ期シ併セテ一般ニ求人開拓主旨ノ徹底ヲ期セントセリ。

### 四 開拓狀況

第一班 開拓町村(自九月十九日至同二十五日)

龜戸町、寺島村、吾嬬町、大島町、南千住町、千住町、三河島町、日暮里町、尾久村、小松川町、砂町

第二班 同 (同)

品川町、大井町、澁谷町、淀橋町、代々幡町、目黒町、大崎町、千駄ヶ谷町、中野町、戸塚町、落合村、巢鴨町、西巢鴨町、板橋町、瀧野川町、王子町

(一) 町村役場ニ於ケル狀況

各町村悉ク相當ノ避難民在ラサルハナク中ニハ震災前人口ノ約倍數乃至二倍ヲ抱擁セルモノ少ナカラス應急救護一段落ヲ告クルト共ニ相踵イテ戸口調査失業者調査等ヲ爲シツツアリテ之カ對策トシテハ府市職業紹介所ト聯絡ヲ取ラントスルモノ紹介所ヲ設置セントスルモノ等各様ニシテ未タ混亂裡ニ忙殺サルノ狀ナリ町村役場ノ配給方面ニ使用スル人員ハ主トシテ青年團等ノ活躍ニ俟テ特ニ多數ノ人夫等ヲ要スルモノ少ク或ハ少數ト雖モ避難罹災者其他町村在任失職者ヲ使用シツツアルモノアリ。

(二) 工場會社等ノ需給狀況

工場會社方面ハ直接間接ノ被害、金融ノ硬塞取引先罹災



等ノ影響ヲ蒙ラサルハ少ク從テ休業状態ニ在ルモノ多ク  
 シテ操業セルモノト雖最小限度ノ活動ニ止リ縮少ノ意嚮  
 アリトモ擴張ハ之ヲ早急ニ望ムヲ得ス現下一般ニ形勢觀  
 望ノ状ニ在ルモノト爲ササルヘカラス直接災厄ヲ蒙レル  
 モノモ目下從來ノ使用者ヲ維持スルニ全力ヲ擧ケ焼跡被  
 害修繕等モ専ラ使用職工ヲ充當シツツアリ二三工場ニア  
 リテハ臨時人夫ヲ雇用スルモノアルモ既ニ請負業者ノ手  
 ニ委セルルモノ多シ惟フニ一段整備スルヲ待ツテ此方面  
 相當ニ求人口ノ整理需要ヲ見ルヘシト信セラル  
 如斯状態ニアルヲ以テ一般ニ需要不足ナルハ寧ロ妥當トセ  
 サルヲ得ス即下ニ大口求人ノ申込ヲ見ルコトハ固ヨリ困難  
 ト謂ハサルヘカラス然レトモ各方面ニ對スル求人依頼ト印  
 刷物配布トハ相當ノ效果刺激ニ價スルモノト確信スル處ニ

東京府

名稱	位置	備考
東京市中央職業紹介所	東京市神田區鎌倉河岸神田橋際	實施中(十月五日燒跡ニバラック竣工豫定)
同 中央職業紹介所市役所前出張所東京市役所前		實施中(十月五日バラック新設竣工豫定)
同 玉姫職業紹介所	同市淺草區玉姫町一二六	實施中(十月五日燒跡ニバラック竣工豫定)
同 芝園橋職業紹介所	同市芝園新堀町三〇	從來通リ
同 小石川職業紹介所	同市小石川區大塚辻町	震災以來休止中ノ處(十月五日ヨリ事務開始豫定)
同 上野職業紹介所	同市下谷區上野三橋町一三	實施中(十月七日燒跡ニバラック竣工豫定)
同 淺草公園職業紹介所	同市淺草區淺草公園六區二號三三五	實施中(十月七日燒跡ニバラック竣工豫定)
同 四谷職業紹介所	同市四谷區花園町一〇三	從來通リ
同 江東橋職業紹介所	同市本所區入江町二四	十月七日燒跡ニバラック竣工ノ豫定

シテ既ニ龜戸方面ノ工場ニアリテハ訪問後數日ナラスシテ  
 熟練職工八十名ノ申込アリ零細求人口ニ至リテハ宣傳後直  
 ニ當局交換部ニ向ツテ逐日殺到シツツアリ只求人口カ當局  
 ノ求ムル處ト幾分質ヲ異ニスルヲ遺憾トスルノミ。(九月  
 二十六日記)

東京府及神奈川縣ニ於ケル職業紹介所

震災後各職業紹介所ノ多クハ天幕張ノ假事務所ヲ設ケテ紹  
 介事務ニ全力ヲ傾注セルモ不便少カラサルヲ以テバラック  
 建築工事ヲ急キツツアリ  
 而シテ國費ヲ以テ増設スヘキ職業紹介所ハ漸次土地ノ選定  
 ヲ終リ建築工事ヲ進メツツアリ、實施中ノモノ竝ニ新設地  
 ノ略々決定シタルモノ左ノ如シ。

同 淺草橋職業紹介所	同市日本橋區馬喰町淺草橋際	實施中(十月七日バラック新設竣工豫定)
同 飯田橋職業紹介所	同市麴町區飯田橋	實施中(十月七日バラック新設竣工豫定)
同 坂本公園職業紹介所	同市日本橋區坂本町公園内	實施中(十月七日バラック新設竣工豫定)
同 六本木職業紹介所	同市麻布區六本木町角	十月二十日開設豫定(バラック新設準備中)
同 上富士前職業紹介所	同市本郷區上富士前町	同 (バラック新設準備中)
同 業平橋職業紹介所	同市本所區業平町	同 (バラック新設準備中)
同 深川公園職業紹介所	同市深川區深川公園	同 (バラック新設準備中)
同 高輪職業紹介所	同市芝園區品川驛附近	同 (バラック新設準備中)
同 櫻田本郷職業紹介所	同芝園區櫻田本郷町	同 (バラック新設準備中)
東京府職業紹介所	同市神田區萬世橋際	實施中(十月二日バラック竣工セリ)
同 日暮里職業紹介所	北豐島郡日暮里町元金杉一五九二	實施中(バラック建築中)
同 南千住職業紹介所	同郡南千住町大字千住南字諏訪面六六	實施中(バラック建築中)
同 寺島職業紹介所	南葛飾郡寺島町大字寺島三共ケ原	實施中(バラック建築中)
同 千駄ヶ谷職業紹介所	豐多摩郡千駄ヶ谷町明治神宮外苑	實施中(バラック建築中)
同 大島職業紹介所	南葛飾郡一丁目一五七	實施中(收容所ノ一部利用ス)
救世軍船屋職業紹介所	東京市淺草區黑船町二八	十月十日事務開始ノ豫定
東京基督教青年職業紹介部	同市神田區美土代町三ノ三	燒跡ニ於テ事務開始ノ豫定
労働共濟會職業紹介所	同市本所區西平野町(西平野署前)	實施中(燒跡ニバラック建設セリ)
愛國婦人會婦人職業紹介所	同市飯田町一丁目	實施中
龜戸町職業紹介所	南葛飾郡龜戸町大字龜戸二九六二	九月二十一日以來中止中ノ處近々從前通リ
澁谷町職業紹介所	豐多摩郡澁谷町役場構内	事務開始ノ豫定
淀橋町職業紹介所	同郡淀橋町大字柏木一三一	同
大崎町立職業紹介所	荏原郡大崎町役場構内	同
北豐島工業組合職業紹介所	北豐島郡西巢鴨町字巢鴨四〇五	九月二十六日ヨリ新設事務開始セリ



神奈川縣

横濱市中央職業紹介所 横濱市櫻木町(櫻木町驛前)  
 同 同市壽町壽小學校横  
 同 同市神奈川驛前  
 同 同市横濱驛前  
 横須賀市職業紹介所 横濱市役所内  
 川崎町職業紹介所 橋樹郡川崎町堀ノ内五三六

實施中(バラック建築準備中)  
 十月十五日頃事務開始ノ豫定バラック建築  
 準備中  
 同  
 實施中(バラック建築準備中)  
 實施中  
 從來通リ

職業紹介状況

十月一日ヨリ同三日マテノ東京府下並ニ横濱市ノ職業紹介所ニ於ケル一般及ヒ労働紹介取扱成績左ノ如シ。

月 日	種別	箇數	求 人 數		求 職 者 數		紹 介 件 數		
			男	女	男	女	男	女	
十月一日	一般	一四	一、二〇一	一、三三六	一、〇七五	三	一、一三九	六四〇	六八〇
十月一日	労働	九	三、九六六	三、九五六	四、四六四	一	四、四六四	三、七九	三、七九
十月二日	一般	一四	一、〇五	一、二八九	一、〇四二	七	一、〇九	三九	三、七
十月二日	労働	九	四、八四	四、八四	三、一〇六	一	三、一〇六	四、四六	四、四六
十月三日	一般	二	一、二六	二四九	一、〇二五	七	一、三九二	六〇〇	六八
十月三日	労働	二	五、〇九五	五、〇九五	五、五九六	三	五、五九六	四、六八	四、六八
十月一日	一般	三	一、一五	一、一五	一、〇一	一	一、一五	一、一五	一、一五
十月一日	労働	三	一、一五	一、一五	一、〇一	一	一、一五	一、一五	一、一五

關西地方避難罹災者職業紹介状況

大阪地方職業紹介事務局ヨリ九月二十九日關西地方避難罹災者職業紹介ノ状況ニ關シ本局ニ到達シタル電報左ノ如シ

月 日	種別	箇數	求 人 數	求 職 者 數	紹 介 件 數
十月二日	一般	三	一、〇八	一、〇七	一、〇七
十月二日	労働	三	二、二六	二、二七	二、二七
十月三日	一般	二	四	三	三
十月三日	労働	二	一、二八	一、二八	一、二八

罹災求職者ハ名古屋市ヲ除キ各地共漸次減少シツアルモ紹介ハ困難トナレリ大阪市中央紹介所ハ求人開拓専務者ヲ更ニ十一名増員セリ前電以來直接受附ケタル大口求人名古屋紡績男工四十名女工百名福島紡績磨工場女工二百三十名其他廣島日本製鋼所九十名徳山町オサカ鐵板會社百五十名ノ求人口アル情報ニ接シ局員特派調査ノ結果何レモ同地方縁故者ニ限り雙方共各七十名許リノ求人アル事ヲ確メタリ。

大阪外三市避難罹災者職業紹介状況

大阪、京都、神戸、名古屋各市ニ於ケル罹災者紹介状況左ノ如シ

月 日	取扱箇數	求職者數	紹介人員
九月二十七日	一一	四六〇	三三二

月 日	取扱箇數	求職者數	紹介人員
九月二十七日	二	二	二
九月二十八日	二	二	二
九月二十九日	二	二	二
九月三十日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十九日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十八日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十七日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十六日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十七日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十八日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十九日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月三十日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十六日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十七日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十八日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十九日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月三十日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十六日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十七日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十八日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月二十九日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四
九月三十日	四	四	四
同 (日備)	四	四	四

月 日	取扱箇數	求職者數	紹介人員
九月二十六日	一一	四六〇	三三二
九月二十八日	一一	四六〇	三三二



同二十九日 七二 六六  
同三十日 四二 三〇

茨城縣ニ於ケル罹災者紹介狀況

一 水戸職業紹介所

當市ニ避難シタルモノノ中今尙滞留スルモノ千九百四十五名ニシテ其ノ紹介狀況ハ

求人數 五〇二  
求職者數 三九六  
紹介件數 二〇八

因ニ右ノ九分迄ハ罹災求職者ナルコト勿論ナリ

一 縣設土浦臨時紹介所

當地ニ於テ救護ヲ施シタルモノ九月十日迄ニ一萬二千六百六十八人多キニ及ヒ町營ノ臨時宿泊所ニ收容シタルモノハ八百八名ナリト云フ爾來東京ニ復歸シタルモノ及ヒ地方ニ移動シタルモノ等アリテ二十八日現在ニ於テハ約二千名ニ減少シ之等ノモノニシテ二十一日事務開始ニ十八日迄ノ取扱數ハ

求人數 一〇〇  
求職者數 三七  
紹介件數 一七  
人事相談 一〇

一 縣設下館臨時職業紹介所

當地ニ避難シタル者一時頗ル多數ニ上リタルモ現在ハ減少シ千七百名トナリ内救護ヲ要スルモノ約二百名ナリト

云フ  
二十八日迄ノ取扱數ハ  
求人數 五九 求職者數 三六 紹介件數 一二  
人事相談 一〇  
因ニ十月一日ヨリ下館町長モ求人開拓ニ從事スルコトトナレリ

災害地家屋建築勞務者供給見込調査

(佐賀縣大正十二年九月二十六日報)

職別	供給シ得ヘキ見込人員	供給シ得ヘキ時期	滞在中ノ希望賃金(食事附)	備考
			最高 最低 普通	食事ナキ場合ハ一圓増シ
大工	三七五	常時	五五〇 三〇〇 四〇〇	ハ一圓増シ
左官	六六	同	三〇〇 三〇〇 四〇〇	同
石工	九	同	三〇〇 三〇〇 四〇〇	同
木工	九	同	三〇〇 三〇〇 四〇〇	同
木挽	九	同	三〇〇 三〇〇 四〇〇	同
壘職	二九〇	同	三〇〇 三〇〇 四〇〇	同
屋根職	二四	同	三〇〇 三〇〇 四〇〇	同
鐵力職	二三	同	三〇〇 三〇〇 四〇〇	同
雜役	一四九	同	三〇〇 三〇〇 四〇〇	同
計	八三三			
備考	往復旅費ハ負擔セラレタキコト			

中央及東京地方職業紹介事務局 取扱求人數

中央及ヒ東京地方職業紹介事務局ニ於テ直接受付タル求人

大口求人數	小口求人數	計
四〇	三二	四七
十月三日		
大口求人數	二五	一〇
小口求人數	一二	一一
計	三二	三三
大口求人數	四三二	四二〇
小口求人數	四二〇	八五二
備考	大口求人ハ五名以上トス	

岡山縣ニ於ケル求人申込

九月二十七日及同二十九日岡山縣ヨリ中央職業紹介事務局ニ左ノ通求人申込アリタルヲ以テ東京地方職業紹介事務局ニ移牒シ各職業紹介所へ同附セシメタリ

會社名	工場所在地	職業別	賃金	雇入期間	使用職工數	備考
福島紡績株式會社	小田郡笠岡町	紡績(總場)	無經驗者一圓	一〇	男 一〇	經驗者ヲ可トス
笠岡工場	岡山市中山下	活版(活字拾ヒ)	一圓二〇	一	女 二〇	經驗者ヲ可トシ男何レニテモヨシ
中國民報社	岡山市門田	精瓦斯紡	七〇錢	一	一〇	經驗者ヲ可トス
鐘紡岡山絹糸工場	岡山市門田	紡績	七〇錢	一	一〇	經驗者ヲ可トス
中國蠶糸株式會社	勝間田町	製糸(糸取り)	六〇錢	三ケ年間	一〇	經驗者ヲ可トス
鐘紡岡山工場	岡山市花畑	紡績	七〇錢	一	一〇	經驗者ヲ可トス
眞庭製糸株式會社	眞庭郡久世町	製糸(難役ニ使用)	四五錢	無期	二	經驗者ヲ可トス



鐘紡西大寺工場	西大寺町	紡績	見習中ハ六〇錢 經驗者ハ一四	八
尾崎織物株式会社	兒島郡琴浦町	織物	八〇錢—一、〇〇圓	六
福山捻糸株式会社	都窪郡大高村	紡績	一圓二〇錢	一〇
倉敷工場	岡山市	粗紡	一圓二〇錢	一〇
岡山理髮組合	岡山市	徒弟		五〇
計				一七三
尾崎田ノ口織物工場	兒島郡琴浦町	織物(織機)	七〇錢—一、〇〇圓	三
合資會社牛窓鐵工所	邑久郡牛窓町	鑄物	二圓	一
丸五足袋株式会社	都窪郡茶屋町	護謄	男 一圓四〇錢 女 六〇錢	五〇
中國工業株式會社	同	同	一圓四〇錢	一〇
丸和護謄工業所	兒島郡藤戸町	同	不明	四
計				六五
合計				八二四〇九

男ハ經驗者ヲ可トス  
年 自十八歲至三十歲  
女ハ經驗者ヲ可トス  
年 自十四歲至二十歲

經驗者ヲ可トス  
年 自十八歲至三十歲  
經驗者ヲ可トス  
年 自二十歲至四十歲

以上九月廿九日報

山形縣ヨリ求人申込

山形縣西村山郡ヨリ十月五日中央職業紹介事務局へ土工人夫百名ヲ要ス、食事寝具付賃金一日一圓望ミノ者アルヤ委

和歌山縣知事ヨリ當局長へ十月五日震災失業者男二九七名

細書面ヲ以テ通報ス。トノ旨電報アリタリ。

和歌山縣ヨリ求人申込

女四三〇名求人申込書本日差出シタル旨電報アリタリ

東京市中央職業紹介所ニ於ケル  
主ナル紹介先調

九月七日	龜戸配給所	人夫	三八	九月十日	高浦事務所	事務員	六
	内務省	同	一一		人事相談所		一二七
	芝浦配給所	同	一三八		上野野驛		一七二
	海軍省	同	一八		芝浦配給所		一九三
	安田銀行	同	二四		九月十一日		
		同			人事相談所	書記	六七
		同			憲兵隊	書記	一〇
		同			大丸組	書記	三六
		同			京橋電話局	同人	一〇
		同			山本組	同人	三五
九月八日	人事相談所	人夫	三四〇		芝浦配給所	電工	二六
	芝浦配給所	人夫	一八二		上山商會	電工	一〇
	帝國ホテル	人	一〇		上野驛大丸組	電工	一五
	海軍省經理局	人	三〇		書記、女中、雜	醫配	一六
	海軍省	人	二〇		警視廳	醫配	一五
	上野野驛	人	四五		報知新聞社	醫配	一六
	牛込區役所	人	三〇		警視廳	醫配	一五
	淺香源吉	人	一〇		九月十二日		
九月九日	人事相談所		一三二		人事相談所	書記	五三
	上野大丸組		二五五		芝浦配給所	醫師	六〇
	上山商會		一〇		大丸組	醫師	一〇〇
	芝浦配給所		三六五		警視廳	醫師	一〇〇
	海軍建築局		二五		肥後銀行支店	醫師	五〇
					芝浦配給所	醫師	五



警視廳 海軍省經理局 九月十三日 人事相談所 駒込病院 九段清水組 石版工 警視廳 芝浦配給所 丸ノ内新聞 配達 雜 上野驛大丸組 九月十四日 人事相談所 工兵大隊 逓信省工務課 市役所(立替) 市役所 荒川八四郎 藏前(芝浦配給所支部) 憲兵司令部 海軍省經理課 山本組 深川清水公園	書記 大 手 傳 工 醫 師 同 筆 工	一五 三〇 三二 三三 五五 三五 三八 一七 一五〇 七三 一六 一〇 八六 一〇 九〇 一五 三〇 三〇 五〇 三〇
---	---	---

雜 九月十五日 人事相談所 東洋社 荒川八四郎 市役所 八千代商會 海軍省經理局 清水公園 藏前(芝浦配給所支部) 市役所 雜 九月十六日 人事相談所 海軍省經理課 錢高組 藏前(芝浦配給所支部) 輔導會 清水公園 京城總督 市役所 同 同 同 同 同 同	電 工 大 工	五八 八五 一〇〇 一〇〇 五二二 二〇 四四 三〇 二九〇 一〇〇 六一 七二 五〇 二七 二五〇 二五 二九 一〇 一〇 二九 二九 六〇 一六 一六 二二
--	------------------	--

九月十七日 人事相談所 輔導會 山本組 市役所 同 芝浦配給所 雜 憲兵司令部 海軍省經理課 錢高組 市役所 同 藏前(芝浦配給所支部) 九月十八日 人事相談所 市役所 飯盛 大丸組 雜 市役所 芝浦配給所 イリス商會 宮腰	夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫	八七 六五 三〇 七七 六五 一五〇 三四 三〇 五〇 一五 二〇 八九 二五〇 七五 七五 三五〇 九 二六 二六 三九二 二〇〇 二〇 四
---	---	---

京城總督 燒跡 九月十九日 人事相談所 齋藤利八 イリス商會 山本組 輔導會 海軍省經理課 藏前(芝浦配給所支部) 水路部 市役所 花井 營養研究所 市役所 東京府下工場被害 警視廳管下ニ於ケル職工五十人以上ヲ使用スル工場四百五 ニ就キ九月二十日現在ニ依リ被害ノ狀況ヲ調査スルニ左ノ 如シ 殘存工場 一七五 倒潰工場 一〇三 燒失工場 一二七 ニシテ其ノ使用職工數一一九、九五四人中ニ於ケル 死者 五八三	調查員 大 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫 同 夫	一一 一〇 一九 五 二〇 二〇 三〇 三〇 三五〇 三五〇 三〇 三〇 三〇 三〇 三九八 二〇 一〇 一〇 五八 五六
---	--	--



負傷者 六九八

ヲ算シ即チ職工總數ノ約一步強ニ當レリ而シテ死傷者以外ノ職工ノ動靜ハ左ノ如シ

- 一、當該工場ニ於テ引續キ工場整理等ニ使用セララルル者 二四、〇三三人
- 二、歸國セル者（歸國手當ヲ受ケ其ノ他工場主ニ通告シテ） 一五、八四三人
- 三、手當ヲ受ケ復舊ヲ待チツツアル者 一五、五四四人
- 四、明ニ解雇セラレタル者 七、二二五人
- 五、明ニ解雇セラレス一時他ニ職業ヲ求メ復業ヲ待タムトスル者 八、一五四人

六、行衛不明

二〇、四〇二人

震災當時ニ於ケル横濱市、橋樹郡、及浦賀町所在工場法適用工場數及職工數（神奈川縣調査）

- 一、横濱市（工場數 一七、三〇七 職工數 一七、七七五） 橋樹郡（工場數 一六、七六七 職工數 四、〇二二）
- 計 工場數 三三八 職工數 三八、五六四
- 二、以上ノ中職工百人以上ノ工場調査表

大分類及區分	横濱市		橋樹郡		浦賀町	
	工場數	職工數	工場數	職工數	工場數	職工數
染織工場	六	三五	一、二七	一、四六	三	二、二七
機械器具工場	一七	七、七六	七、五	八、〇三	七	四、六四
化學工場	二	四、六四	三	五、〇三	二	一、二九
飲食物工場	一	二、四	一、〇	三、四	一	一、一〇
雜工場	三	五、九五	二、七	八、二	一	一、七〇
特別工場	一	一、三	二	一、四	一	一、七〇
計	三〇	九〇、八	二、六〇	二、二〇	一、七	九、四七

備考 前記區域内ニ於ケル工場法ノ通用工場數及職工數ハ左表ノ如クナルヲ以テ掲記工場數ハ全適用工場數ニ對シ一四「パーセント」ニ過キサレモ職工數ハ八五「パーセント」ニ達ス

三、前記地區内職工百人以上ヲ雇備セル工場ハ被害ヲ蒙ラサルナク被害ノ程度ヲ大別セハ左ノ如シ

區域別	被害キモノ	全焼				半焼				全潰				半潰			
		工場數	職工數	工場數	職工數	工場數	職工數	工場數	職工數	工場數	職工數	工場數	職工數	工場數	職工數		
横濱市	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一			
橋樹郡	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一			
浦賀町	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一			
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一			

四、罹災工場復舊ニ付工業主ノ意嚮及狀態概表

復舊ノ有無	横濱市	橋樹郡	浦賀町	計
復舊	二	一	一	四
復舊見込ナシ	三	一	一	五
閉鎖	一	一	一	三
未定	六	一	一	八
計	三〇	一	一	三二

五、失業職工ノ計數ニ付テハ現在正確ナル統計ヲ得ル能ハサルヲ以テ明ニ解雇シタルモノ及辭職ヲ申出テタル職工數ヲ示スニ左ノ如シ

横濱市	五、九四八	不明一工場
橋樹郡	五、四九	不明六工場災害當時職工數
浦賀町	五、〇〇	六、五九三名ナリ概ネ工業主ハ解雇ノ意志ナシ
計	六、九九七	

町名	世帯數	家族員數
元濱町	一	六
元川町	二	九
石川町	三	一三
石川仲町	四	一五
山元町	二	一五
千代崎町	四	二五
上野町	七	三〇
公園町	九	三七
新山下町	二	一〇
山手町	二	一〇
福富町	一	五
長者町	三	九
長菜町	一	四
蓬萊町	一	一
賑吉町	二	一〇
末吉町	二	一〇
山吹町	一	四
吉岡町	一	四
山吹町	一	四
久方町	一	四
雲井町	一	四
足井町	一	四
富士見町	一	四
山田町	一	四
千歳町	一	四

横濱市失業者調  
（大正十二年九月二十六、七日調）  
（横濱市役所被害調査係調査）







大阪市北區中ノ島四丁目七番地

コレヲ國勢調査當時ノ東京人口二百十七萬三千二百人ニシテラフレハ八十餘萬人ノ大減少トナツテキルカ郡部へ移ツタ避難者モ漸次復歸シテキルノテ當分多少ノ増減ハマスカレナイト猶各區ノ人口ハ

區名	定住人口	避難者數	計
麴町	五、八八	三、二五	七、〇七三
神田	一〇、八〇	二六、〇三	三六、八三三
日本橋	—	八、一九	八、一九
京橋	一、九四	一九、四六七	二一、四二二
芝布	九、二九	五、五二	一四、八一
麻布	九、三六	二六、七三	三六、〇九
赤坂	四、四六	二、六六	七、一三
四谷	六、三六	三、六六	一〇、〇二
牛込	二七、四六	四、二六	三一、七二
小石川	一七、九六	四、五五	二二、五一
本郷	一〇、八七	五、〇三	一五、九〇
下谷	三、五二	四、四六	七、九八
淺草	二、八七	九、八七	一二、七四
本所	四、六〇	五、四〇	一〇、〇〇
深川	—	三、四七	三、四七

大阪地方職業紹介事務局移轉

十月一日ヨリ大阪地方職業紹介事務局ハ左宛ノ箇所へ移轉シタリ

記

歐洲ニ於ケル失業救濟制度

保險制度ニ依ラサル失業救濟制度ハ決シテ常態ノモノナク平時ニ在リテハ望マシキモノニ非スト云フノカ通説ナル併シ非常ノ場合ニハ已ムヲ得ナイモノテアツテ大戰後産業狀態ノ平靜ニ復スル迄歐洲ノ多數諸國ニテハ緊急ノ手段トシテ實行セラレタ以下各國ノ事例ヲ述ヘル

○英吉利

Out of Work Donation.....vol. 25, 1918. 千九百十八年十一月世界大戰已ミ軍需工場ノ閉鎖軍隊ノ解散ニ伴ヒ多大ノ失業者ヲ出スコトナツタ而ルニ失業保險ハ一定ノ職業ニ屬スル者ニ限ルノミナラス其ノ給付ハ生活費ノ暴騰ニ就テ決シテ十分ノモノテハナカッタ即チ此ノ缺陷ニ應スル爲千九百十八年十一月二十五日カラ失業救濟制度カ布カレタ此ノ制度ノ梗概ヲ述ヘルト十六歳以上ノ私人ニシテ健康保險證書ニ依リ(十六歳未満及七十歳以上ノ者ニ付テハ其ノ他ノ方法ニ依リ)千九百十二年七月以降千九百十八年八月二十五日迄ノ間ニ於テ關係ニ在リタルコトヲ證明スルヲ得ル者及軍人ニシテ軍隊ヨリ除隊シタル者ニ付テ失業救濟金ノ制度ヲ設ケラレタ尙其ノ家族タル小兒ニ付テハ別ニ家族手當ヲ給與スルコトトナツテ居ル

給付ノ週額ハ左ノ通テアル

除隊軍人	最初ノ二十六週間	爾後
男女(十八歳以上)	二九志六片	二〇志〇片
女子(十八歳以上)	二九志〇片	一五志〇片
少年(一五—一七)	一四志〇片	一〇志〇片
少女(一五—一七)	一二志六片	七志六片

家族手當ニ付テハ

十五歳未満ノ第一子ニ對シ一週六志 其他十五歳未満ノ小兒毎ニ一週三志 ヲ追給スルコトトナツテ居ル 大體ニ於テ失業救濟金制度ハ失業保險案ニ則リ其ノ手續ヤ機關ハ失業保險法ノ手續及機關ヲ利用シタ 失業保險制度モ同時ニ繼續サレテ行ハレタカ保險ニヨリ給付金額ハ救濟ニヨリモ遙ニ低額ナリシ故實際ニハ失業保險ニ依リ給付ヲ求ルモノハナカッタ

○佛蘭西

佛國政府ハ戰時中已ニ失業救濟金制ヲ採用シタ即チ人口五千人以上ヲ有スル郡又ハ市ニ於テハ失業基金 Fond de Chômageヲ設ケシメ之ヲ使用者及勞働者ノ代表者各同數カラ成ル委員會ノ管理ノ下ニ置キ勞働紹介所ト聯絡ヲ取ラシメタ

斯クシテ市、郡ニ於テ支給シタ救濟金額ノ三分一ハ國家カ地方廳ニ補償スルコトトナツテ居タ軍需品工業ノ需要増大スルニ伴ヒ失業基金ノ必要ハ減少シタカ物資ノ缺乏ヲ告タルヤ再ヒ其ノ必要ヲ見ルニ至リ千九百十八年四月部分の失業ニ對スル基金設定ニ關スル命令カ發布サレ日米ハ費用ノ三分一ノ補助ヲ爲シ雇主ハ少クトモ他ノ三分一ノ離出ヲ爲スコトヲ強要サルルニ至ツタ

○伊太利

伊太利テハ戰爭カラ平和ヘノ通過時代ニ失業救濟金制度ヲ起シタ千九百十七年四月十七日ノ命令千九百十八年十一月十七日ノ命令ニ次テ千九百十九年一月五日ノ命令ハ九千八百萬リラノ分配ニ關シテ規定シタ此ハ季節勞働者ヲ除キ從前規則的ニ備使セラレタ勞働者ニ付テノミ規定シタモノヲ示シテ居ル



アツタ

救済金ハ労働ヲ爲スコトヲ得且之ヲ欲スルニ拘ラス仕事ノ不足ノ爲ニ労働ヲ爲ス能ハサル者ニ對シテノミ之ヲ支給スルモノヲアツテ職業紹介所又ハ之ニ類スル場所ニ申込み而モ仕事ヲ得ラレサル場合ニ職業紹介所地方失業保険局ノ其ノ他主務大臣ノ指定シタル團體ニ於テ支給スルモノヲアル給付額ハ男女ニ依リ又地方ニヨリ異ル即チ

男 子

二リヲ乃至三リヲ

女 子

一、五〇リ乃至二、五〇リヲ

此外十二歳未満ノ少年ヲ有スル場合ニハ家族手當ヲ受ク私生子ト雖モ一定條件ノ下ニ手當ヲ受ケル

○瑞典失業救済

千九百十四年九月二十八日ノ勅令ニシテ國家及公共團體ノ共同失業救済金ノ制度ヲ定メテ居ル

失業救済ヲ受ケル爲ニハ地方ノ失業救済委員會ノ定ムル補習教育ヲ受クルコト及毎日紹介所ニ出頭スルコト及紹介所ノ指定スル職業ニ服スルコトヲ條件トシテ居ル救済金ハ地方ノ失業救済委員會ニテ交付シ地方廳ノ支出スルト同額(但最高限ノ定メアリ)ヲ國家カ補給スルコトトナツテ居ル

○獨逸失業者救済法

一、救済機關

市町村及市町村組合

二、救済ニ要スル費用ノ分擔

1、國庫 失業者救済ニ要スル總經費ノ十二分ノ六(但シ負擔力ナキ市町村ニ對シテハ國ノ補助金ノ額ヲ増加セシムルコトヲ得)

2、邦 所屬邦ヨリ十二分ノ四

3、失業者 負擔セス

三、失業救済金

1、給付ノ條件

イ、戰爭ノ爲失業ニ因リ困窮ノ状態ニ在ル者

ロ、労働能力アリ且労働意思アル十六歳以上ノ者

2、金額

イ、救済ハ一週日以上ノ待期ヲ附スルコト

ロ、救済金支給期間 二十六週間以内トシ二三ノ例外アリ

ハ、支給金額 地方ノ物價等ヲ參酌シテA B C D Eノ地方等級ニ分テ最高率ヲ定ム

甲 表 支給金額

(一)男子ニ對シ

イ 二十一歳以上ノ者ニシテ他人ノ家政ニ生活セサルモノ A B C D E

ロ 二十一歳以上ノ者ニシテ他人ノ家政ニ生活スルモノ 八、〇〇圓 七、〇〇圓 六、〇〇圓 五、〇〇圓

ハ 二十一歳未満ノ者 七、〇〇圓 六、二五圓 五、五〇圓 五、〇〇圓

(二)女子ニ對シ

イ 二十一歳以上ノ者ニシテ他人ノ家政ニ生活セサルモノ 六、〇〇圓 五、二五圓 五、〇〇圓 三、七五圓

ロ 二十一歳以上ノ者ニシテ他人ノ家政ニ生活スルモノ 五、〇〇圓 四、二五圓 三、五〇圓 三、〇〇圓

ハ 二十歳未満ノ者 三、〇〇圓 二、五〇圓 二、〇〇圓

乙 表 家族割増金

イ 配偶者ニ對シ 三、〇〇圓 二、七五圓 二、五〇圓 二、二五圓

ロ 子供及其他ノ被扶養權アル家族 二、〇〇圓 一、七五圓 一、五〇圓 一、二五圓



終

